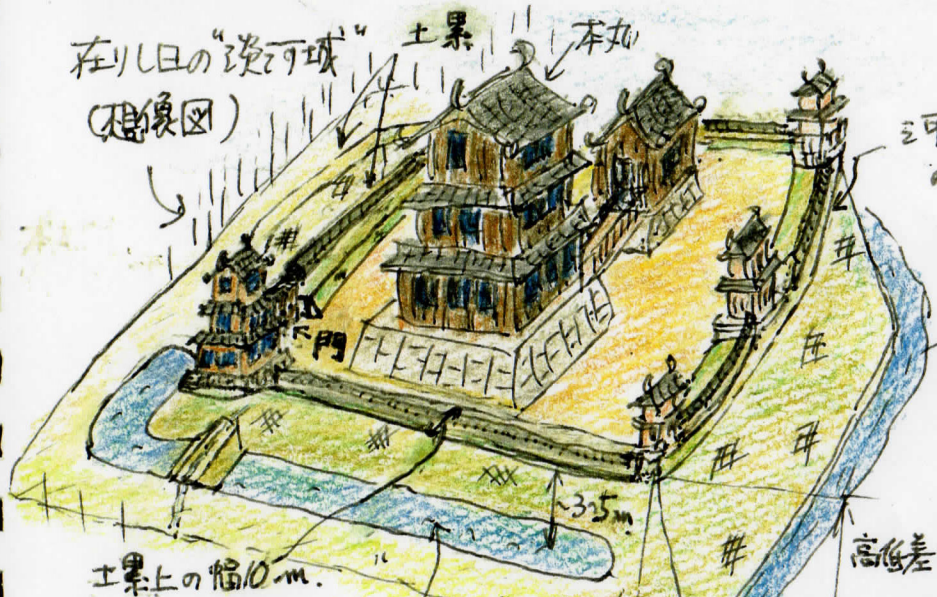


2020.11.15(日) 古寺山くらぶ 参加:

在り日の“淡河城” (想像図)



河岸段丘端の上=建造地=と案内板に書かれていた

帝釈山系に流れる川

風情が漂う街並

高低差25m程

淡河川

湯山街道

米宿場街

淡河城跡

天木

淡河面付城の跡

帝釈山

丹生山

淡河家墓碑

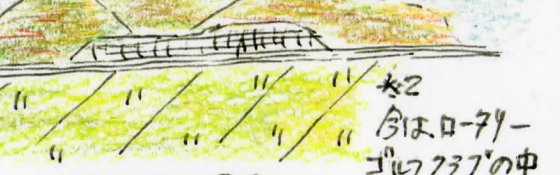
淡河家の紋

帝釈山系の川

(敬称略) 計7名

この後3つは隠れているのが
*2 論破山 土地争いで
(250.7m) (たのた3つか?)

付城跡は淡河の山城とされる



② 見えた景色

開 蔵田神社

人の背丈程ある道標



明治5年に当主、村上家他で建てられたの様

至道場有馬

淡河本陣跡

淡河本町バス停

豊助馒头

淡河本町南バス停 次の行先表示は小橋(箕谷)と淡河本町北とある

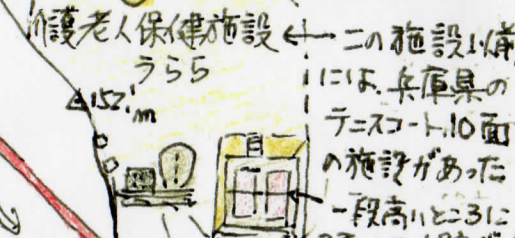
道の駅淡河

三田の三が上下逆の標識めずらしい!!

竹慶寺跡

長松寺

この辺りの丘陵端には付城が存在してと伝えられる



至箕谷

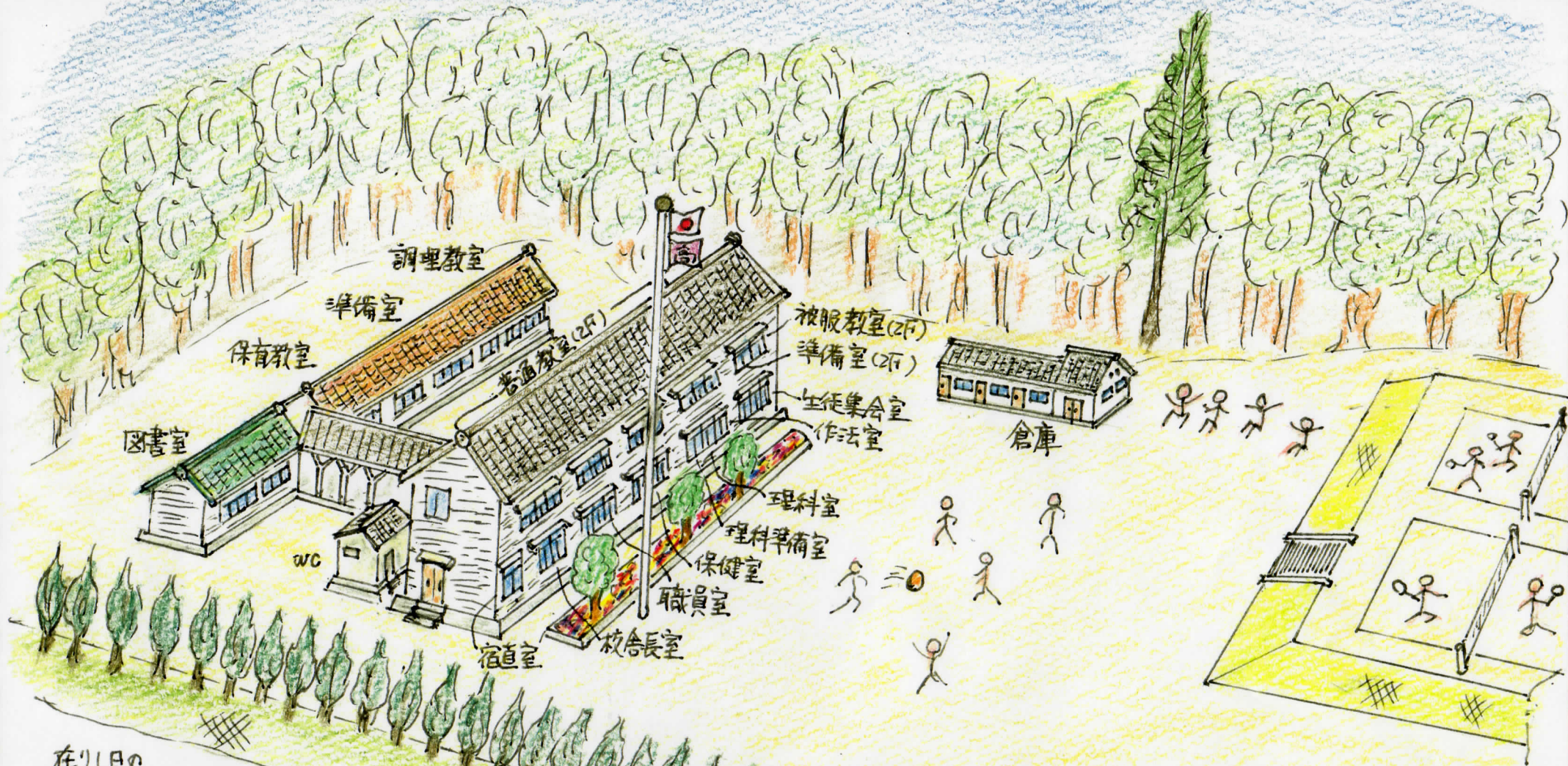
淡河八幡神社

祝建口記念日制定と刻まれているが建口記念の日が正しいようだ

至木梁
*淡河盆地は昔泡河湖の底であった水を抜き大地を拓けたが、2ヶ所の深みのうち1つで、村人達は新しい大地の鎮守として祀った(のびぎく文庫 神戸の伝説より)
(PS: もう一つの深みは蔵田神社だそう)

① 見えた景色

K. Tsuzuki



在り日の
淡河校舎 (想像図)

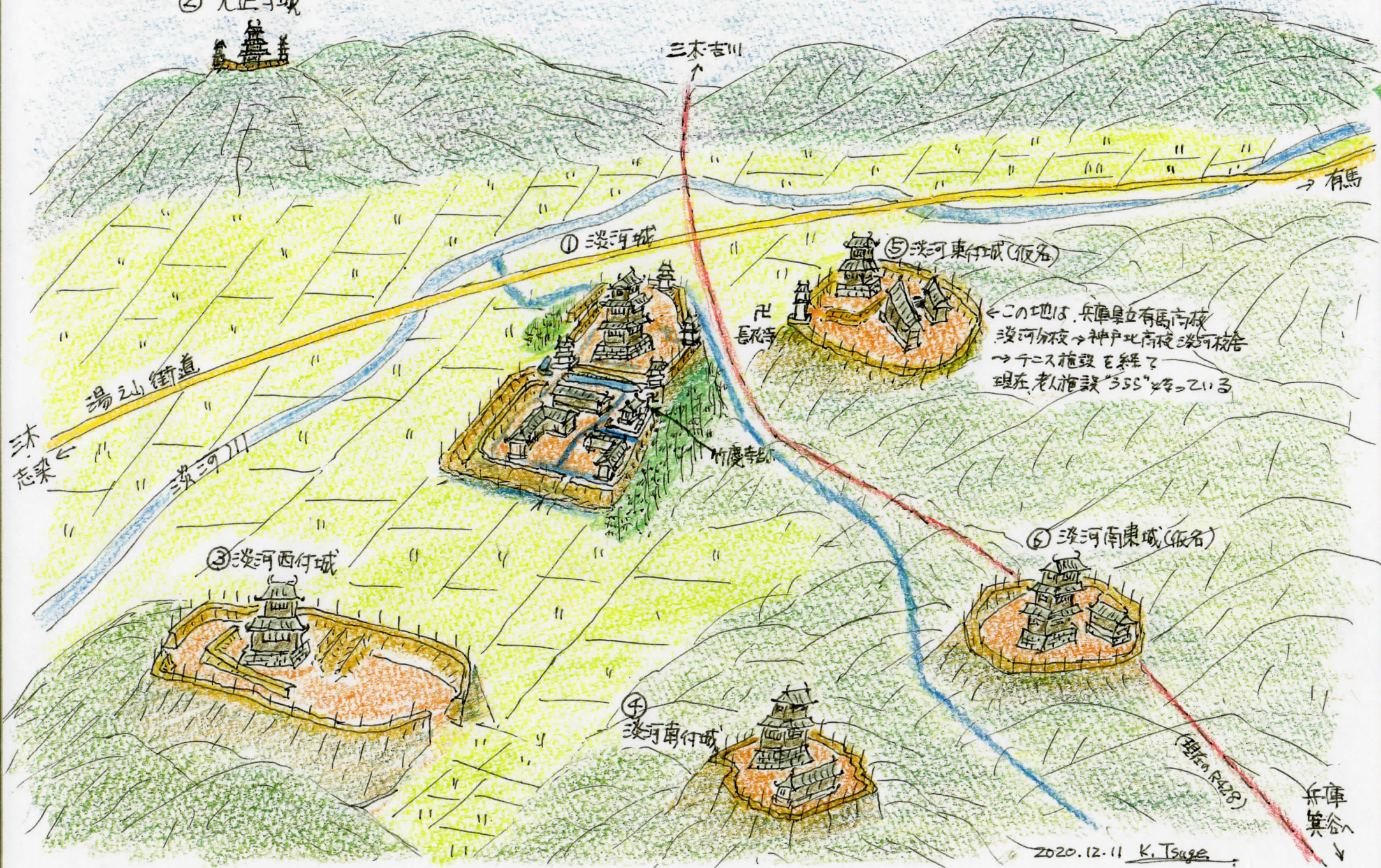
戦後の混乱期、新制県立有馬高校の農業科
分校として開校したが、最後は家政科女子学生80名になる
昭和48年県立神戸北高校として存続するを喜んだのも
つかの間、昭和50年3月に卒業生を送り出すと、閉舎された。
最後の学生さんのお見持と伺いたいもの……

注) 詳細は、県立神戸北高校
のブログを参照されたし

2020.11.23
Ki Tsuge

淡河城付城(想像図)

② 无正寺城



三木吉川 ↑

→ 有馬

① 淡河城

⑤ 淡河東付城(仮名)

←この地は、兵庫県立有馬高校
淡河分枝→神戸北高校 淡河校舎
→テニス施設を経て
現在、老人施設“355”となっている

湯山街道

沐志染 ←

③ 淡河西付城

⑥ 淡河南東城(仮名)

④ 淡河南付城

(御道 R428)

兵庫
箕谷 ↓